



[HOME](#) [仏教](#) [仏像](#) [名所旧跡](#) [スナップ](#) [グロマコン](#) [経営コンサルタント](#)

【カシャリ！ ひとり旅】

東京北区石神井川沿いのウォーキング 4

東京都北区王子 王子神社

JTBパブリッシング社の「東京自然を楽しむウォーキング」を参照して、2021年3月に、北区のJR王子駅から、板橋区の都営三田線・板橋区役所前駅までの約6kmを、桜をモチーフに楽しみました。

東京都北区

<http://www.city.kita.tokyo.jp/>

区のサイトによりますと北区は、下記のように紹介されています。

北区は、江戸時代から飛鳥山の桜、石神川||の滝や紅葉といった四季の変化を楽しむことができる行楽地として知られていました。現在も、これらの自然をはじめ、荒川や石神井川などの4つの河川に恵まれた緑あふれるうるおいのまちです。

JRや地下鉄、都電などが区内を走り、商店街がにぎわう便利で活気のあるまちでもあります。

令和6年には、近代日本経済の礎を築いた渋沢栄一が新一万円札の顔として登場。渋沢は、61歳から亡くなる91歳までの30年間、飛鳥山の一角を本邸として過ごし、その邸宅の一部も残り、また渋沢資料館として一般公開もされています。

北区基本構想では、将来像として、「ともに作り未来につなぐときめきのまち ～ 人と水とみどりの美しいふるさと北区」を掲げ、その実現に向けて努力しています。



面積	20.61km ²
総人口	353,431人（推計人口、2021年2月1日）
人口密度	17,149人/km ²
区の木	サクラ（1972年12月25日制定）
区の花	ツツジ（1972年12月25日制定）

■ 東京都北区王子

王子（おうじ）は、東京都北区のほぼ中央部に位置し、東北新幹線、京浜東北線などが南北に貫通し、それに並行するように国道122号（北本通り）が走っています。その通り沿いには、王子随一の繁華街があります。

昭和40年代までは、渋沢栄一で知られる旧王子製紙（過度経済力集中排除法による会社分割前の王子製紙であり現在の同名企業とは異なる）の工場や社宅が多く立ち並んでいました。

徳川8代将軍吉宗の時代から桜の名所として知られる王子ですが、日本で最初に制定された公園として知られる飛鳥山公園があります。見落とされがちなのが、桜並木の美しい石神井川を遡り旧中山道の板橋宿まで続く遊歩道です。

■ 王子神社

<http://ojijinja.tokyo.jp/>



王子稲荷神社を参拝し、名主の滝公園をでて、公園の北側を回って急な三平坂を昇りきってから200m程行きますと、広い車道にでます。左折して車道を10分ほど歩いて行きますと、正面に飛鳥山公園が正面に見えてきます。

坂を下りきった左手に王子神社があります。



地図： JTBパブリッシング社「東京・自然を楽しむウォーキング」

■ 王子神社

王子神社の御祭神は、伊邪那岐命（いざなぎのみこと）、伊邪那美命（いざなみのみこと）、天照大御神（あまてらすおおみかみ）、速玉之男命（はやたまのおのみこと）、事解之男命（ことさかのおのみこと）の五柱です。

これら5柱を総称して「王子大神」と呼んでいます。

紀州（和歌山県）熊野三社権現（本宮・那智・新宮）の御子神さまの呼称で、世界遺産にも登録された熊野古道には多くの王子神が祀られていたといわれます。

王子神社(由来)

御祭神 伊邪那岐命、伊邪那美命、天照大神神、速玉之男命、事解之男命

元亨二年(三二二)、豊島郡を支配していた豊島氏が、熊野の方向を望む石神井川沿いの高台に、紀州熊野三社権現から王子大神を勧請し、若一王子宮として祀られるようになり、これにより、村名が岸村から王子村に改められ、王子という地名の由来となりました。また、石神井川がこの地域では昔無川と呼ばれているのも紀州の地名に擬したとの説があります。

王子神社は、豊島氏に続いて領主となつた小田原北条氏からも寄進をうけ、江戸時代には、徳川家康が社領として二〇〇石を寄進しました。これは、王子村の村高の三分の二にあたり、別当寺は、王子神社に隣接していた禅夷山金輪寺で、将軍が日光社参り鷹狩の際に休息する御膳所となっていました。将軍家の祈願所として定められた王子神社は将軍家と関係が深く、三代将軍家光は社殿を新造し、林羅山に命じて「若一王子縁起」陰巻三巻を作らせて奉納しました。家光の乳母である春日局も祈願に訪れ、その後、五代綱吉、十代家治、十一代家斉が社殿の造営修繕をし、境内には神門、舞殿などをそなえ、摂末社も十七社を数えました。

紀州徳川家の出であった八代吉宗は、紀州ゆかりの王子をたびたび訪れ、飛鳥山に桜を植樹して寄進しました。この後、花見の名所となった飛鳥山や王子神社周辺は、江戸近郊の名所として多くの人が訪れるようになります。特に、七月十三日に行われた王子神社の祭礼は、槍祭ともよばれ、小さな槍を買い求める人や田楽躍を見物する多くの人でにぎわったことが見物記などからうかがえます。

明治時代には、明治元年(一八六八)、准勅祭社となり、東京十社に選ばれ東京北方の守護とされました。戦前の境内は「太田道灌雨宿りの権」と呼ばれた神木をはじめ、多くの樹木が茂っていましたが、戦災で焼失したため、境内に現存する東京都指定天然記念物の大イチョウは、戦災を逃れた貴重な文化財です。戦後は、氏子一同により権現造の社殿が再建され、現在の景観に至っています。

末社 間神社 蟬丸法師を祭神とし、理容業者により信仰されている全国でも珍しい「髪」の祖神です。

平成二十五年六月

東京都北区教育委員会



公益財団法人 紙の博物館所蔵「若一王子縁起」絵巻

01 本殿

hon-den

壮麗な権現造りの本殿。神事や御祈禱はこちらで行われます。神前では心を静めてお詣り致しましょう。



TOP



境内案内

Precinct Map

◇ 王子神社のアプローチ

通りから、大きな石灯籠と「王子神社」と彫られた石柱が目につきます。

戦国時代、この地の領主であった小田原北条氏もこの神社を篤く崇敬したという記録があります。江戸時代には、家康により朱印地二百石が寄進され、将軍家祈願所と定められました。それ以降、「王子権現」の名称で江戸名所の1つとなりました。



社殿は秀麗な権現造りで、境内には神門、舞殿などをそなえ、摂末社も17社を数えるほどでした。

八代吉宗は、紀州ゆかりの神社として喜び、飛鳥山（今日の飛鳥山公園）を寄進しました。この時に植えられた桜が今日まで続く基となり、江戸

三代将軍徳川家光が社殿を造営したり、林羅山に命じて縁起絵巻「若一王子縁起」三巻を作らせ寄進したりしました。

その後もいろいろな将軍からの寄進や造営修繕などがなされました。



庶民遊樂の地となりました。

これがもとで、花（桜）の飛鳥山として知られるようになったのです。

戦前は「太田道灌雨宿りの椎」と伝えられる巨木を始め、多くの樹木が茂り、勝海舟の修行話も伝えられています。戦災でほとんどを焼失致しましたが、1本だけ奇跡的にイチョウの木が生き残りました。樹齢600年とも伝えられるこの大イチョウは、東京都の天然記念物にも指定されています。

末社 関神社

全国でも珍しい「髪之祖神」。御祭神は百人一首でも有名な蟬丸公で、姉「逆髪姫」のために髻・鬘を作ったという伝説により、髻、鬘や床山業界の方々の信仰厚い神社です。また蟬丸公は琵琶の名手でもあり「音曲諸芸道の祖神」としても崇敬されています。戦災で焼失したものを、髻、鬘、床山、舞踊、演劇などの関係業界の御尽力により、昭和34年に再建されました。境内には毛髪報恩のための毛塚も建立されています。

大鳥居

高さ28尺6寸（約8.6m）の大きさは、石造りの鳥居としては都内有数のもので、茨城県稲田産の御影石を使っています。戦災で焼失した神門の場所に立てられており、境内神域をお守りしています。



狛犬

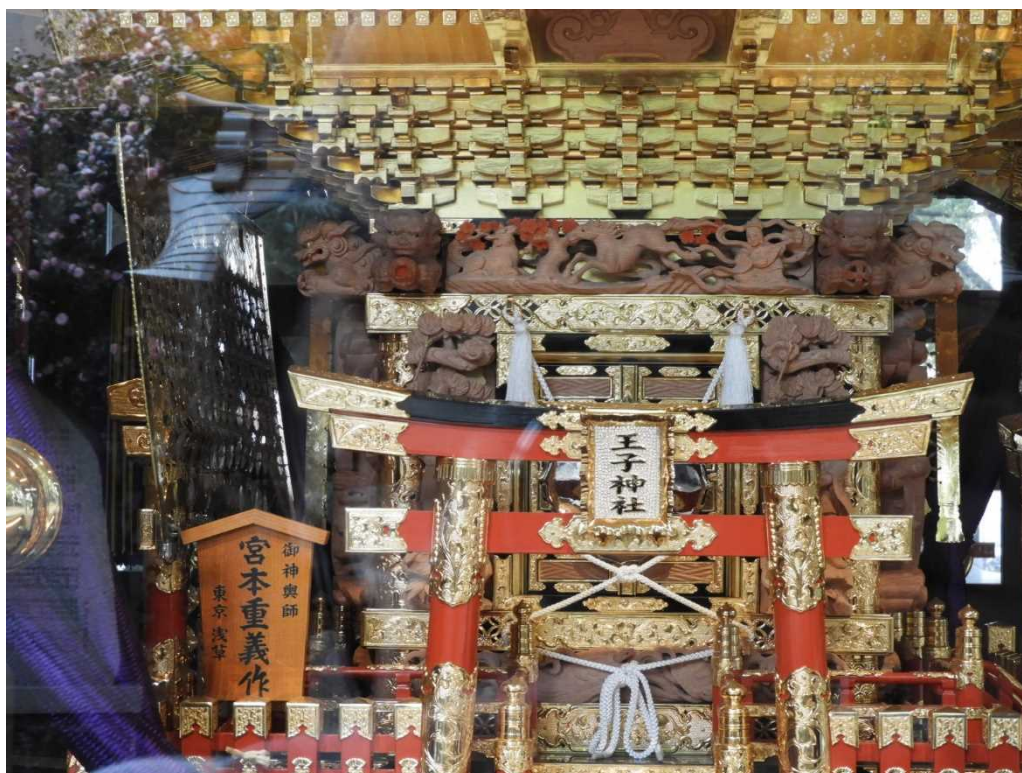
当社の狛犬は阿吽の形態とともに「子育て狛犬」として建立されています。社殿向かって右側の狛犬が父親で、子どもをあやす鞠を持っています。向かって左側の狛犬が母



親で子どもを守っており、ご夫婦揃って子育ての守護となっています。

本社神輿・神輿蔵

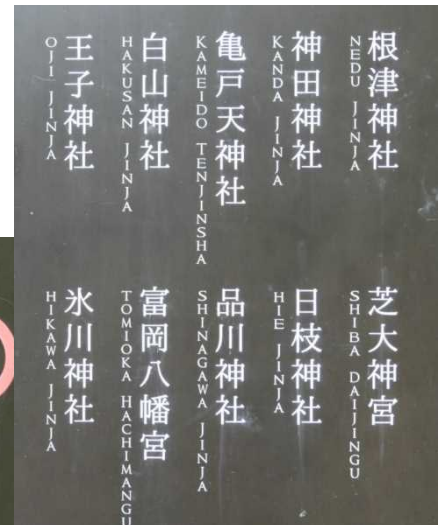
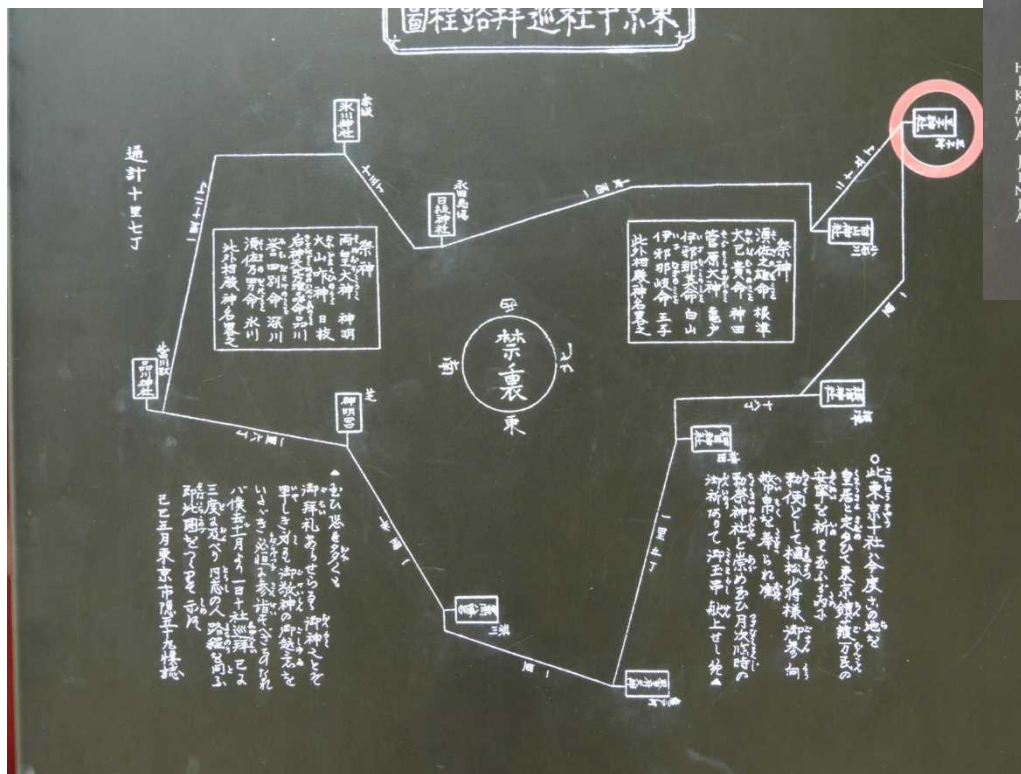
平成 29 年に本社神輿が奉納されました。台輪は三尺、屋根は王子神社の姿を模した唐破楓で、重量（相棒含む）約 550 kg、胴には当社伝来の田楽舞の彫刻がされています。令和元年の例大祭に天皇陛下御即位を奉祝して初の本社神輿渡御が行われました。神輿蔵は同年竣工、神輿をご覧頂けるように正面と側面がガラス張りとなっております。



由緒板

境内参道横に由緒板が建立されています。平成 25 年に神社代表総代によって奉納されました。文面は宮司が記述し、北区教育委員会が監修・制作して完成に至りました。また「田楽の碑」の改修も合わせて行われ、神社の伝統を伝えるものとなっております。

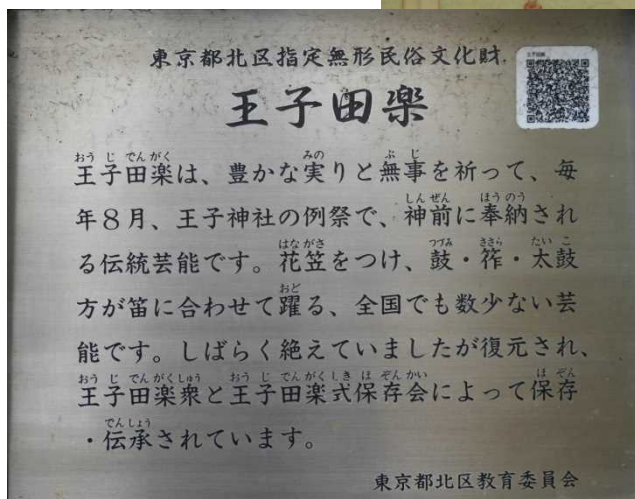
創建は、詳らかではないようですが、源義家の奥州征伐の時に、ここで慰霊祈願が行われ、甲冑を納めたという故事が伝えられています。古くから聖地として崇められていたのですね。



その後、元亨 2 年（1322 年）、領主豊島氏が紀州熊野三社より王子大神を迎え、「若一王子宫」と呼ぶようになり、熊野三社にならって景観を整えました。これを契機にこの地は王子という地名となりました。

東京十社に選ばれ、以来、東京の北方守護として鎮座

毎年 8 月に開催される例祭で、王子田楽が舞われます。



本殿





本殿内陣

大イチョウ

本殿を正面に見て右手に小径があります。



左手奥が本殿

東京都指定天然記念物
おうじじんじやのいちよう

王子神社のイチョウ

所在地 北区王子本町一の一の二
指定 昭和十四年三日

音無川(石神井川)左岸崖線の肩の部分に一際高くそびえ立つ大イチョウです。幹囲五・二m、樹幹の先端部は欠損していますが、高さは二四・二mあり、全体的にはほぼ自然樹形を保っています。

王子神社の創初については、飛鳥山公園内にある「飛鳥山碑」(都指定有形文化財・古文書)に書かれています。それによれば、元亨(げんこう)年間(一二二一〜一二四)に豊島氏が勧請したことが始まりとされていますので、その頃にこのイチョウが植えられたとすると、六〇〇年近い樹齢と考えられます。

戦災によって王子神社の社殿や太田道灌が雨宿りをしたという伝説を持つシイの大木など多くのものが失われた中で、このイチョウは生き延び、今も高台から東京の街の移り変わりを静かに見つめています。

平成二三年三月 建設

東京都教育委員会

文化財を大切にしましょう



「王子神社のイチョウ」の名称で東京都の天然記念物に指定されている大イチョウです。当社の創建当時からあると考えられ、樹齢は600年とも言われています。戦災で社殿を始め、境内の殆どを焼失する中で唯一生き残った貴重な大イチョウです。雄の木ですのでギンナンは生りませんが、秋の紅葉は見事です。

句碑

王子神社の天然記念物の大銀杏の下には石碑が立っています。

暮際もなく 夜空にうつる さくらかな
八十三翁 大谷

暁山

石碑の裏には「昭和五年八月十三日」とあり、往年の飛鳥山の桜花の情景を詠んだ、元王子町長大谷氏の句碑ということです。

当時の飛鳥山は、新しい公園に生まれ変わって整備されましたが、同時に公害のため、桜は見られ

なくなっていたそうで、石碑は往事の名所をしのぶものとして立てられたようです。現在、飛鳥山は再整備されて昔の面影を取り戻し、桜の名所として親しまれています。

元亨2年（1322年）、領主豊島氏が紀州熊野三社より王子大神を迎え、「若一王子宮」と呼ぶようになり、熊野三社にならって景観を整えました。これを契機にこの地は王子という地名となりました。



■ 音無親水公園

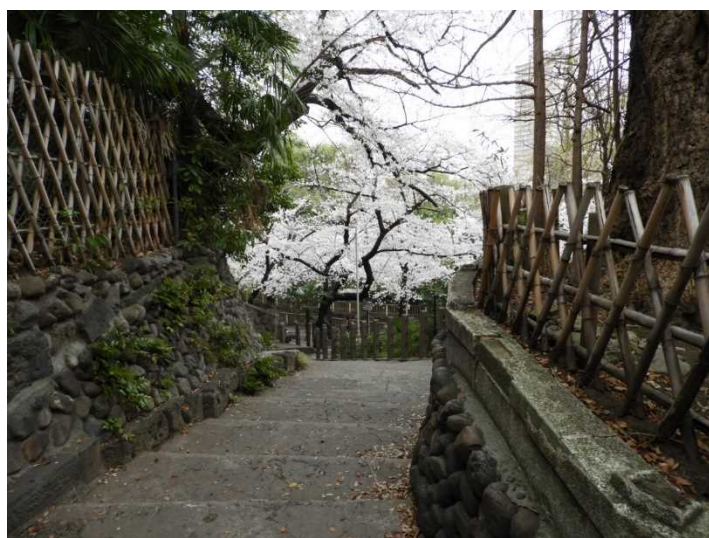
<https://www.city.kita.tokyo.jp/d-douro/bunka/koenichiran/otonashishinsui.html>

王子神社下を流れる石神井川は、この付近では、特に「音無川」と呼ばれています。ＪＲ王寺駅北口の方から行きますと、徒歩で３分ほどでたどり着けます。

音無親水公園は、小平市の東部を源にして隅田川に注ぐ石神井川の旧流路に整備された公園です。石神井川は、北区付近では“音無川”と呼ばれ親しまれ、古くからの春の桜・夏の青楓と滝あび・秋の紅葉など四季の行楽の名所、景勝の地でした。

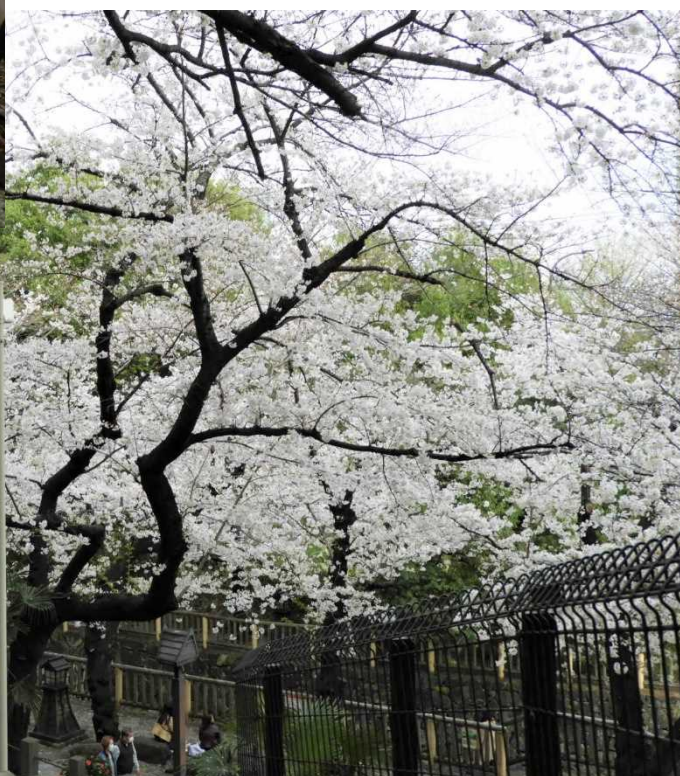
しかしながら、戦後の経済の復興・発展とともに石神井川も生活排水などで汚れた川となり、洪水による被害を防ぐ目的で、昭和３０年代から始まった改修工事によって緑の岸边は厚いコンクリートの下へと消え、典型的な都市河川となりました。この改修工事で、飛鳥山公園の下に２本のトンネルを掘り、石神井川流路のショートカットが行われ、残された旧流路に、「かつての溪流を取り戻したい」として音無親水公園ができました。

音無親水公園は、全国の都市公園の模範たる公園として“日本の都市公園１００選”に選ばれています。都内では、国営昭和記念公園、日比谷公園、上野公園、水元公園、代々木公園が選ばれており、園内には記念碑があります。



右手に王子神社の大銀杏が見えます。

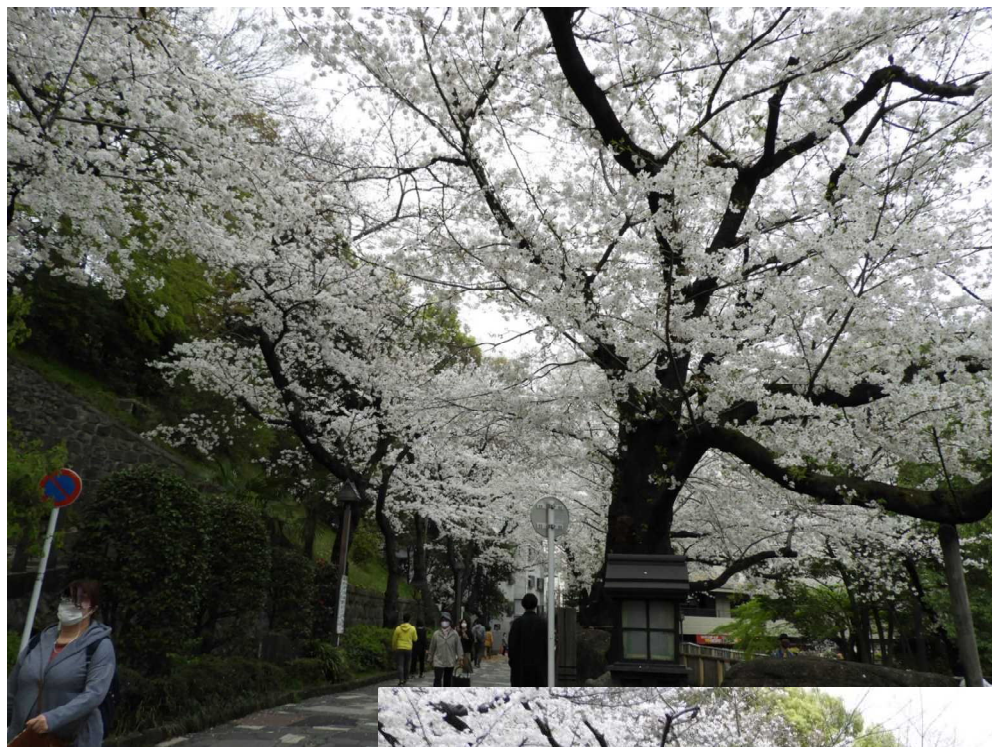
その横を降りてゆきますと、音無親水公園につきあたります。



大銀杏の横を降りてゆきますと、花見におとずれた人達が、そぞろ歩きをしていました。

左手奥がＪＲ王子駅北口方面です。

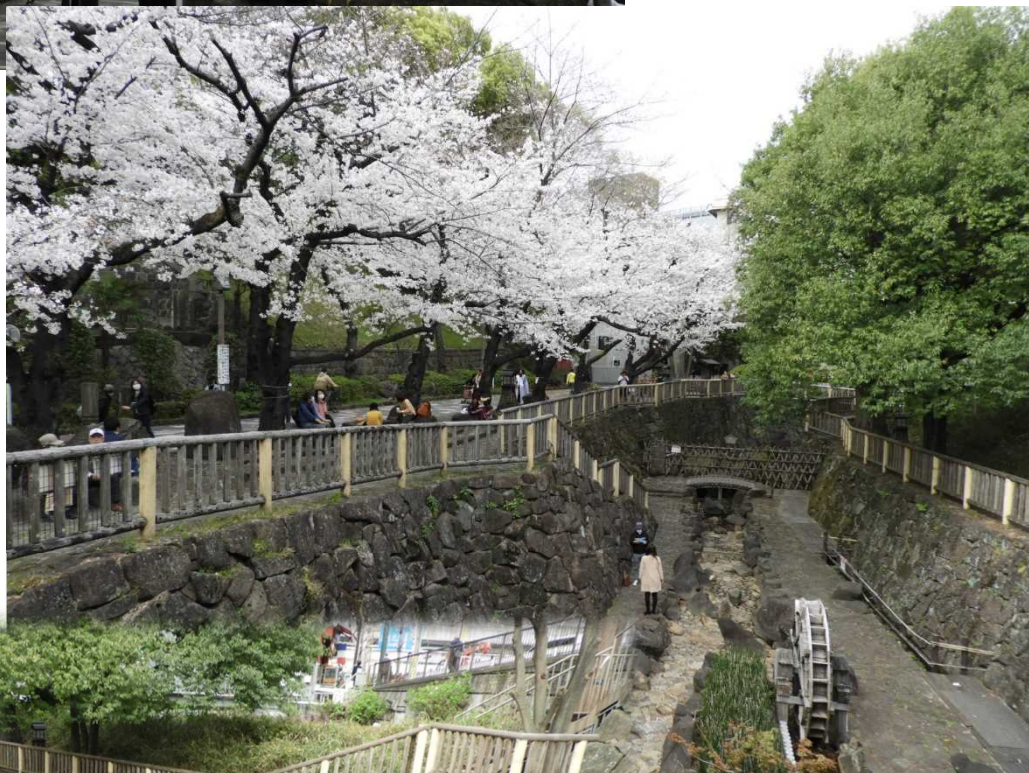




左手の高台に王子神社があります。

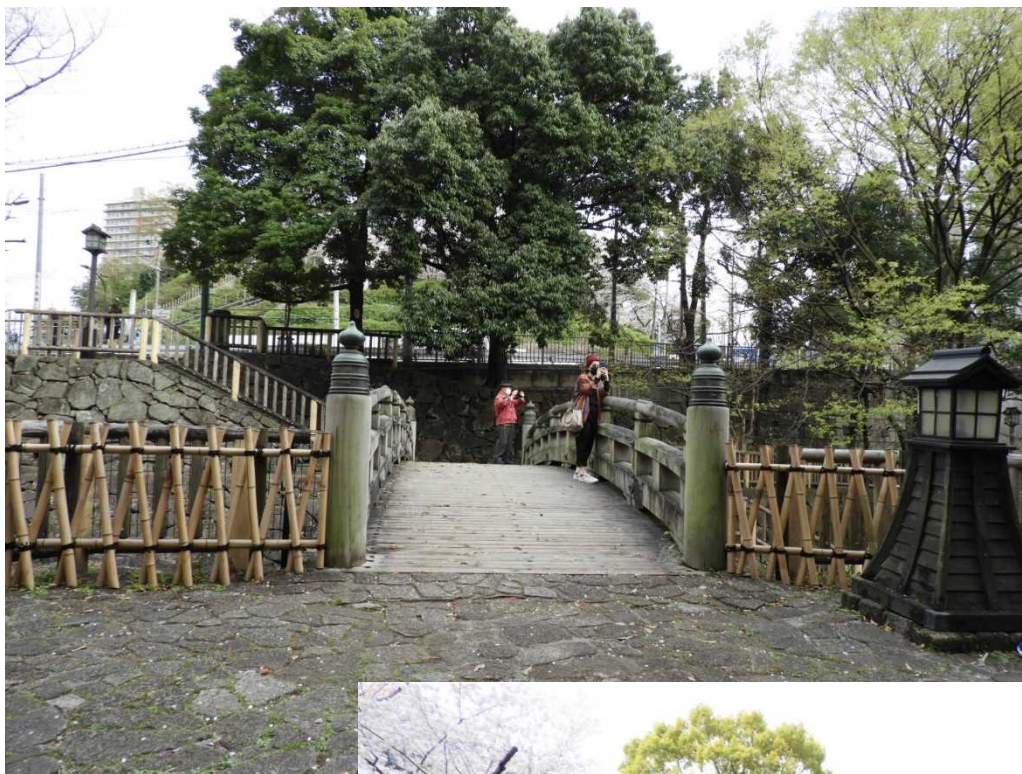
桜トンネルの奥がＪＲ王子駅です。

右手下が音無川（石神井川）です。



夏には水遊びをする子どもたちでいっぱいになるそうです。

流れの水は、ろ過装置による循環水を使用しています。



舟串橋（ふなくしばし）

昭和 33 年の狩野川台風で流され廃橋となっていました。が、いまは、趣のある橋として復元されています。

かつて、王子七滝のひとつといわれる「権現の滝（ごんげんのたき）」が、ここに再現され、流量は毎分 1 トンとゆたかです。



音無川上流方向には、貯水池があります。

公園の上を国道がまたいでいます。

